

平成 26 年(2014 年) 9 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書(1 日目)

平成 26 年 9 月 10 日(水)

割当時間(答弁を除く) 新風会 55 分
公明党 35 分

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	金城 徹 (新風会)	1 県知事選挙 への出馬の意 向について 2 辺野古問題 について	<p>我が会派は、翁長市長に対して最初に県知事選への出馬要請をしたが、これについて市長は出馬要請について感謝しつつも、出馬については言及されていない</p> <p>その後、立場の異なる多くの方々から出馬要請を受けて、まさにオール沖縄での出馬要請となり、いよいよ舞台が整った感を強くするが、そこで翁長市長の見解を伺う</p> <p>(1) 本年 4 月下旬行われた世論調査によれば、辺野古新基地建設について、74%の県民が反対した。移設作業の本格化に向け、辺野古沖での海底ボーリング調査の開始後、8 月末に行われた直近の調査によれば、その数はさらに増加し、辺野古中止を求める声は 80%に達したと報道されている</p> <p>驚くべきは、自民党や公明党の支持層からも作業の中止を求める回答が 7 割を超え、特定の支持政党を持たないいわゆる無党派層では、8 割に達した点である</p> <p>普天間飛行場の辺野古移設を許さないとする、これまでの「オール沖縄」の声は消えていないものと認識する。この世論調査が示す現状について、市長の見解を伺う</p> <p>(2) 今月 3 日、翁長市長は辺野古のテント村そしてキャンプシュワブゲート前を視察されたが現場に佇んで、どのようなことを感じたのか見解を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(3) 国の辺野古新基地建設が強行され、県民が大きな不安を抱える中、沖縄県知事である仲井眞氏は、当時者意識のないコメントを繰り返すばかりであり、県民をさらに失望させた。この強行実施について、翁長市長の見解を伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

代表質問（1日目） 平成26年9月10日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	屋良栄作 (新風会)	<p>1 那覇市政の総括について</p> <p>2 全国学力テストについて</p> <p>3 泊魚市場移設問題について</p> <p>4 松山公園連携施設について</p>	<p>翁長市長は、本日まで13年9カ月と10日(5,032日)にわたり市長職を務めてこられたが、その中で特に力を入れてきたことや印象に残っていることは何か伺う</p> <p>また、やり残していることや次世代へ継承してほしいこと、伝えたい思いがあれば32万市民及び将来の市民へのメッセージとして、この機に述べて頂きたい</p> <p>(1) 今回の学力テストの本市における結果について伺う。データを挙げて示して頂きたい</p> <p>(2) 小学6年生における結果の総括はどうなっているか</p> <p>(3) 中学3年生における結果の総括はどうなっているか</p> <p>(1) 本市に地方卸売市場としてのセリ市場(魚市場)がある意義について伺う</p> <p>(2) 沖縄県がこのまま糸満への移転を押し進めた場合、どのような事態が生じると推測しているか伺う</p> <p>(1) 趣旨目的と簡単な事業概要について伺う</p> <p>(2) 那覇市のシンボル軸の中における同施設の位置づけはどうなっているか伺う</p> <p>(3) 那覇市の西岸地域の中における同施設の位置付けについて、観光の観点から伺う。ハーリー会館や泊いゆまち、対馬丸記念館、波上官、波の上ビーチ等と連携し、地域全体の活性化を図れないか</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		5 国保問題について	<p>(1) 去る8月26日、沖縄県独自の国保問題解決のため、政府に対して要請行動を行なったが結果報告を求める</p> <p>(2) 今回の国への要請行動をはじめ、一連の行動についてはどこが主体的に担ったか</p> <p>(3) 今後の見通しについて何う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

代表質問（1日目） 平成26年9月10日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	金城 眞徳 (新風会)	<p>1 いじめ防止基本方針について</p> <p>2 教育研究所の実績と事業効果について</p> <p>3 放課後児童クラブ(学童)について</p>	<p>教育委員会では、今、那覇市いじめ防止基本方針の策定を進めているが、その基本的な考え方を伺う</p> <p>教育研究所は1年を通して多くの事業をこなしているが、その内の先生方の研修について伺う 教師になると初任者研修がある。そして5年研修、10年研修とあるが、延べ何回程の研修がなされているのか。また平成25年4月以降、那覇市の中核市移行に伴い沖縄県より、法定研修などが移譲されているが、それに伴う定期的な研修が増えたのか伺う</p> <p>共働き家庭等で昼間、家に保護者のいない小学生児童に対し、放課後の時間や、夏休み、秋休み、春休みなど安全に過ごせるように、放課後児童クラブが地域で組織されて児童の健全育成事業を行っている。そこでは、宿題指導や異年齢集団での遊びを通して多様な体験等、地域における子供達の交流を一層深める事ができて利用者から喜ばれている。 今、那覇市内36小学校に61の児童クラブがあり、学校内もしくは、校外に補助金を受けている児童クラブとして児童の居場所づくりに頑張っている。 補助金を受けている児童クラブに入れない待機児童は何名いるのか、そして補助金を受けていないクラブは何クラブあるのか伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

代表質問（1日目） 平成26年9月10日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	高良正幸 (新風会)	<p>1 こども子育て支援新制度について</p> <p>2 なは市民協働プラザについて</p> <p>3 那覇市中心市街地活性化の取り組みについて</p>	<p>(1) 支援新制度の目的と概要を伺う</p> <p>(2) 支援新制度における3つの認定区分の内容を伺う</p> <p>(3) 幼保連携型認定こども園について伺う</p> <p>(4) 小規模保育事業内のA型・B型・C型の相違を伺う</p> <p>(1) なは市民協働プラザの設置の目的を伺う</p> <p>(2) なは市民活動支援センターの施設の中で支援ブース・行政関連団体室・事務室の内容と特徴を伺う</p> <p>(3) なは産業支援センターの施設内の中核企業室・インキュベーション室の内容を伺う</p> <p>(4) 県内の産業支援センターと、なは産業支援センターとの相違点を伺う</p> <p>(1) 那覇市中心市街地活性化基本計画の進捗状況について伺う</p> <p>(2) アーケード老朽化の対策について伺う</p> <p>(3) 通りの空き店舗対策と公設市場の空き小間解消対策について伺う</p> <p>(4) トイレ設置状況と今後の対策について伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

代表質問（1日目） 平成26年9月10日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	桑江豊 (公明党)	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 国保行政について</p> <p>3 福祉行政について</p> <p>4 教育行政について</p>	<p>4期14年の市政を振り返っての見解を伺う</p> <p>(1) 市政を担当しての感想と市民への思い</p> <p>(2) 次期市長へ望むこと</p> <p>国保の累積赤字解消に向けての取り組みについて、以下伺う</p> <p>(1) 要請行動に至る取り組みの経過</p> <p>(2) 要請内容及び要請先</p> <p>(3) 要請に対する政府の感触</p> <p>(1) 被保護世帯児童生徒への支援について、以下伺う</p> <p>① 本市で実施している支援事業</p> <p>② これまでの事業実績</p> <p>③ 生活困窮者自立支援法の施行による事業への影響と今後の方針</p> <p>(2) 「臨時福祉給付金」及び「子育て世帯臨時特例給付金」について、以下伺う</p> <p>① 申請書の発送及び受付・給付の状況</p> <p>② 事業実施後の見えてきた課題とその対応</p> <p>③ 未申請者への対応策</p> <p>全国学力テストの結果について、以下伺う</p> <p>(1) 県内における本市の状況</p> <p>(2) 成果を上げた要因及び今後の課題</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

代表質問（1日目） 平成26年9月10日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	野原 嘉孝 (公明党)	<p>1 高齢者福祉について</p> <p>2 子育て支援について</p> <p>3 防災行政について</p>	<p>お年寄りが住み慣れた地域で自分らしく暮らし、満足ゆく人生を全うできるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できる「地域包括ケアシステム」の構築へ向けて、包括支援の現状掌握と諸課題への対応が大変重要な時期になっているが、高齢者福祉の取り組みについて以下伺う</p> <p>(1) 本市における高齢者人口比率の推移について</p> <p>(2) 平成25年4月より市内12カ所に設置してスタートした「地域包括支援センター」における実績について</p> <p>(3) 「地域包括ケアシステム」は、地域の状況に応じて構築していかなければならないが、本市におけるシステムの計画概要について</p> <p>母子及び父子家庭等のひとり親世帯への支援策について以下伺う</p> <p>(1) ひとり親世帯への支援施策の概要と実績について</p> <p>(2) 母子、父子世帯、その他の世帯数内訳と進学状況（高校、大学）について</p> <p>あらゆる災害に対して日常の備えと定期的な防災訓練等が必要不可欠であるが、本市における防災行政に対して以下伺う</p> <p>(1) 自主防災組織の結成状況について</p> <p>(2) 地域における防災訓練の実施状況について</p> <p>(3) 地区防災計画の概要と策定状況について</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		4 W i F i 化 計画事業について	本市の I C T 利活用モデル事業として国際通りを中心に W i F i 化計画が昨年 8 月よりスタートしたが、その事業概要と利用状況について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長